

第 81 回 鎌倉エフエム放送番組審議会議事録

1. 開催年月日 平成 23 年 5 月 8 日（日） 13 時 30 分～15 時 00 分
2. 開催場所 鎌倉エフエム放送局内
3. 委員出席 委員総数 7 名  
出席委員の氏名 児玉 昭義 中島 和晃 小島 隆雄  
大橋 民男 木村 敏彦 堂園 孝美  
欠席委員の氏名 島田 貴司  
放送事業者側出席 須藤 一郎
4. 議題
  1. 番組編成に関して
  2. その他
5. 議事の概要 議題に対する答申
6. 審議の内容  
議 長：須藤 一郎  
出欠席者の確認をして会議に入った。  
次に本日の審議事項の発議を提案。  
会社側委員：堂園孝美さんに番組審議会の新委員としてご就任いただきました。今回の審議会より出席して頂きますのでよろしくお願いいたします。  
会社側委員：東日本大震災により鎌倉祭りをはじめ多くのイベントが中止になりましたが、「路地フェスタ」は予定通り実施され、生中継放送も行われました。  
委 員：過度に自粛する事なく地域の活性化には鎌倉エフエムとしても積極的に参加すべきである。  
会社側委員：鎌倉「街の駅」サテライトスタジオの開設は延期になりました。詳細は未定ですが積極的に参加する予定です。  
委 員：大震災の影響であるとは思いますが早期に実現されるよう尽力ください。  
会社側委員：放送機材老朽化対策を計画中ですが計画停電に対応できなかった不備も早急に改善すべく放送機材改修計画全体の見直しを行います。  
委 員：防災への対応として関係諸機関との連携をも含めて対処すべきだ考えます。  
会社側委員：鎌倉市および消防本部との連携や緊急割り込み放送への対応としても計画停電などによる放送への影響を回避するインフラが必要になる。放送法の改正によりコミュニティ放送も基幹放送局としての自覚も求められております。  
委 員：非常時へのソフトとハード両面の対応を整備して下さい。  
会社側委員：前回も申し上げましたが、難聴対策の一助としても放送品位の改善は有効であり可能な範囲で向上を図りたい。本日は有り難うございました。
7. 審議機関の答申または改善意見に対してとった処置及び年月日 な し
8. 審議機関の答申または意見の概要を公表した場合における公表の内容、方法及び年月日 ホームページにて公開
9. その他の参考事項 な し  
以 上